

令和 7年度予算見積調書

課室名: こども安全課
 担当名: 総務・里親推進担当
 内線: 3339

(単位: 千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業			
S290	里親による乳幼児養育推進事業				一般会計	民生費	児童福祉費	児童措置費	里親制度推進費			
事業期間	令和 7年度～令和 9年度	根拠法令	児童福祉法、児童虐待防止対策等総合支援事業費国庫補助金交付要綱			針路分野施策	04 子育てに希望が持てる社会の実現 0403 児童虐待防止・社会的養育の充実	SDGsゴール SDGsターゲット	4, 16, 8 4-7, 16-1, 16-2, 8			
1 事業概要 乳幼児の養育経験が豊富な里親やファミリーホームの養育者に対し研修を実施し、「乳幼児ケアエキスパート」を育成する。 「乳幼児ケアエキスパート」による乳幼児の一時保護、またその先の養子縁組里親への継続したフォローにより、家庭養育体制の基盤整備を図る。 併せて、休日夜間の乳幼児の緊急一時保護の受け入れ先とすることで児童相談所における円滑な緊急一時保護を実現し、乳幼児の安全を確保する。 里親による乳幼児養育推進事業 5,970千円					5 事業説明 (1) 事業内容 乳幼児の養育経験が豊富な里親やファミリーホームの養育者に対し指導方法や里親の支援、児童相談所との連携に関する研修を実施し、「乳幼児ケアエキスパート」を育成する。 「乳幼児ケアエキスパート」は、乳幼児を一時保護で受け入れ、その先の養子縁組里親へ3か月～6か月程度の継続したフォローをすることで、家庭養育体制の基盤整備を図る。 併せて、休日夜間の乳幼児の緊急一時保護の受け入れ先となり、児童相談所における円滑な緊急一時保護を実現し、乳幼児の安全を確保する。 (2) 事業計画 ア 里親委託候補の乳幼児を一時保護で受け入れ、次の養子縁組里親をフォローしながら乳幼児を引き継ぐ。 イ 養子縁組里親に乳幼児を引き継いだ後も定期的に訪問をする等、継続的な支援を行う。 ウ 休日夜間の乳幼児緊急一時保護を受け入れる。 (3) 事業効果 社会的養育の必要な乳幼児の生活が、一時保護や措置委託の理由に関わらず里親等となる。 「乳幼児ケアエキスパート」による乳幼児の引き継ぎから里親委託後まで継続的な支援により、乳幼児の養育に慣れた里親の負担が軽減する。 また、育成により乳幼児の受け入れが可能な養育レベルの高い里親が増加し、家庭養育推進の基盤が整う。 里親等が休日夜間の緊急一時保護先となり、保護された乳幼児の安全が確保される。 【活動指標(アウトプット)】 「乳幼児ケアエキスパート」の活動による家庭養育体制の整備及び児童相談所における円滑な緊急一時保護の実施 【成果指標(アウトカム)】 社会的養育を必要とする乳幼児の生活は、里親等の下での家庭養育が中心となる。 夜間休日の緊急時であっても保護された乳幼児の安全が確保される。							
2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2)、一部(県10/10)												
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 社会福祉費(細目) 児童福祉費(細節) 児童相談所費(積算内容) 児童虐待防止対策等総合支援事業												
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 人件費(既存分) 9,500千円×1.5人=14,250千円 (2) 人件費(増員分) なし (3) 組織の新設・改廃 なし												
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比			
		国庫支出金										
決定額	5,970	2,910						3,060	5,970			
前年額	0							0				

事業内訳書

事業名	里親による乳幼児養育推進事業		
単位事業名	乳幼児ケアエキスパート育成事業	予算額	5,970千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 児童福祉費補助金	2,910	2,910	児童福祉事業対策費等補助金 補助率 1/2
一般財源	3,060	3,060	
合計	5,970	5,970	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	5,970	5,970	乳幼児ケアエキスパート育成事業業務委託
合計	5,970	5,970	